

# 東北太平洋沖地震 救援対策本部設置のお知らせ

東北太平洋沖地震の被災教会を救援するため、以下のような形で「救援対策本部」を設置することになりました。特に太字の部分のご協力を御願いたします。

1. 救援対策本部長には鎌野善三教団委員長、副本部長には藤森牧男師があたる。  
教団委員は本部長と副本部長の指示に従って、被災教会との連絡をとる。  
実働部隊の長として船田献一師（京都聖徒教会）、補佐として井上義実師（黒磯教会）と船田肖二師（白河栄光教会）があたる。
2. 連絡先は、しばらくは教団事務所とする。
3. 堤キリスト教会（須賀川シオンの丘）を当面の救援基地とし、必要な救援物資の集積所、ならびにボランティアの宿泊場所とする。ただし、今後の被災教会の状況によっては、変更することがある。
4. 初期的な活動
  - (1) 全国の教団教会に義援金を御願する。  
教団事務所のゆうちょ銀行振替口座（01130-8-10200）を用いる。義援金と明記して送金いただきたい。
  - (2) 被災教会からの要請を受ける。  
被災地教会及び被災教会員の家庭に必要な物資がある場合は、教団事務所に連絡してもらおう。ボランティアの派遣が必要な場合も同様。その要請に応じて、物資をシオンの丘に運び、各教会に届ける。
  - (3) 情報は、教団事務所で管理し、教団ホームページと教区連絡網によって全教会に知らせる。【教団ホームページ <http://www.jccj.info/>】
5. 中期的な活動
  - (1) 救援ボランティアは、可能な期間を明記して、教団事務所に連絡する。
  - (2) 対策本部は、各教会からの要請に従ってボランティアを派遣する。
  - (3) 救援物資や義援金とその活用状況、また応援活動はホームページに載せる。
  - (4) 被災地の他教団や他教派の救援支援にもあたる。
  - (5) JEA やその他の救援団体との連携と協力を深める。
6. 長期的な活動
  - (1) 被災地の教会の復興と回復のための財的、人的、物的、霊的支援をはかる。  
集まった義援金は、教団委員会で慎重に協議して配分する。
  - (2) 被災地の教職及び教職家族への物心両面でのケアと支援をする。
  - (3) 教団の諸活動、財政支出等を見直し、救援、復興支援に集中できる体制をとる。